



高校受検は最大4校

私立について詳しく

高校の種類は「公立私立国立」とありますが、これらは全て受験日が異なるため、すべて受験可能です。公立と国立は各1校ずつ、私立は2校受験できる、全部で4校受験が可能です。今回は私立について説明していきます。

①入試の日程

公立が全道一斉に同一日試験なのに対し、私立は2つの試験日があります。これをA日程とB日程といいます。

A日程の高校、B日程の高校というのは決まっています。旭川の私立5校はすべてA日程です。ABそれぞれ1校ずつ受験できます。公立の普通科のように、**学区外受験という制約はありません**。私立はどの管内でも等しく受験が可能です。

②学科は多様

公立と違い、私立は複数の学科を開設しています。旭川市内

の高校では大体、次の3つに分けられます。
i 国公立大学進学を目指す学科
(普通科特別進学コース)
ii 私立大学や短大進学を目指す学科(普通科進学コース)
iii 高校卒業後に就職を目指す専門学科(商業科や工業科)
公立の多くは1校1学科ですが、私立は複数の学科を開設しています。なかには英語科や体育科のような学科を開設している高校もあります。

③受験科目は3 or 5教科

公立が5教科受験なのに対して、私立は受験コースによって5教科と3教科(英・数・国)の受験があります。

④私立の負担軽減

授業料無償化とは、正しくは「**就学支援金制度**」といつて、国に申請することで授業料を負担してもらう制度です。授業料以外にも費用はかかります。そちらを軽減する方法の一つとして「**奨学金制度**」というものがあります。

つまり、3教科受験の人は理・社の受験対策をしなくていいだね。



奨学金には貸付型(無利子でお金を借り、就職後に返還していくもの)と給付型(返還の必要がないもの)の2種類があります。保護者の収入や家庭状況によって申請できます。

高校に入學してからもお知らせがあると思います。似たような制度で高校独自に設けている制度に「**奨学生制度**」というものがあります。これは「学力面で優れている人」や「スポーツ・文化の分野で優れた人」に限られますが、「入学金や授業料を免除」してもらえます。ただし、多くは「**専願受験**」(他の高校を受験しない)の人に適用される制度です。

高校によって様々だから、まずはどんなことに興味あるか考えてみて。



編集後記

今回の説明は旭川市の私立高校にはあてはまりますが、他地域については異なります。興味のある高校があります。興味のある高校がありましたら中学校までご連絡ください。すぐに調べてお伝えいたします。